

## 《 令和4年度 JST技術移転人材実践研修（メンタリングコース）研修生募集 》

### ○コース概要

経験実績あるメンター(専門家講師)とのメンタリング相談をとおして、自身が直面する実務の問題の解決を目指す研修です

### ○応募条件

大学等に所属するコーディネーター、URA等の専門職又は事務職員で技術移転、共同研究、産学連携に係る実務経験1年程度以上（意欲の強い方であれば、実務経験年数を問わない）かつ、技術移転、共同研究、産学連携に係る基本的なスキルを習得できる研修を修了している方（詳細はJSTのホームページをご参照ください）

### ○募集期間：令和4年6月27日～令和4年12月9日 正午

○研修期間：令和4年7月～令和5年2月の期間の中で研修生とメンターが協議して実施日時を決定

※令和3年度の平均研修時間は11時間10分

※メンターとの協議はメンタリングの日時のほか、問題解決の対応策、到達目標などの計画作成を含む

○募集人数：15名程度

○研修料：無料

○研修場所：原則、リモートオンライン ※社会情勢により、メンター所属機関や研修生所属機関での直接対面可

### ○応募方法

以下URL（右QRコード）の公募サイトから応募フォームにアクセスし必要事項を入力し、ご応募ください。

<https://form.jst.go.jp/enquetes/2022jissenapplication>



※コース詳細について以下URL（右QRコード）のページをご参照ください

<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/tt/course2/index.html>



### 《R2・3年度修了者(アンケート回答者)及びR4年度現時点の研修生の属性》

国立大学所属が半数、ほか公立大学、私立大学、公立研究機関所属。職種はコーディネーター、URA、一般職員が同数、研究員、専門職員の順。技術分野は全般担当の方、ライフサイエンス、臨床研究の方。経験年数は5年以上、1～2年未満が多い。年齢は41～45歳代が多く、次いで61～65歳代、36～40歳代、31～35歳代の順。

【実務の問題の領域】①研究シーズの発掘・組み合わせ②研究シーズの権利化③市場調査・先行技術文献調査④共同研究候補企業及び企業ニーズの探索⑤プロジェクト企画・事業化企画⑥共同研究計画の提案（学問・企業）⑦学内チームづくり⑧契約交渉⑨プロジェクトマネジメント（進捗、成果、リスク）⑩その他

### ご応募からメンタリング研修までの流れ

- |                            |   |                        |   |                     |
|----------------------------|---|------------------------|---|---------------------|
| ① この問題解決したい                | ↓ | ④ メンターマッチング・選考・研修決定    | ↓ | ⑥ メンタリング研修開始        |
| ② JSTメンターのアドバイスを受けつつ解決目指そう | ↓ | ⑤ 秘密保持誓約・研修計画書(ドラフト)提出 | ↻ | ・リモート主体<br>・直説対面も可能 |
| ③ 応募(12/9 応募期限)            | ↻ |                        |   |                     |

#### 《応募フォーム》

**応募者情報の入力**

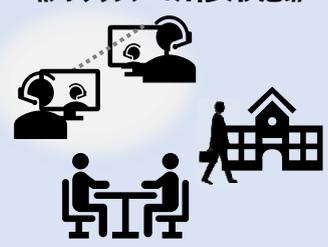
① 氏名・所属・連絡先・研修経験等

氏名(漢字) 必須

※姓と名の間に全角で空白を入れて下さい

#### 《研修計画書フォーム》

#### 《メンタリング研修形態》



### －JST 技術移転人材実践研修に関するお問合せ－

国立研究開発法人科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部  
 技術移転人材実践研修事務局 E-mail [t3course\\*jst.go.jp](mailto:t3course*jst.go.jp) (\*→@)